

スマートフォンを活用したコンビニ収納サービス『PAYSLE（ペイスル）』の サービス開始について

弊社は、日本電気株式会社(NEC)と株式会社三井住友銀行の共同出資により設立された株式会社ブリースコーポレーション（代表取締役社長：佐藤洋史、以下 bree）が提供する、スマートフォンを活用したコンビニ収納サービス(名称:『PAYSLE(ペイスル)』)において、収納代行会社として参画いたします。

1. コンビニ収納サービス『PAYSLE』の概要

『PAYSLE』は、コンビニエンスストアなど（以下、コンビニ）で公共料金や通信販売の代金等の現金支払いの際に用いる紙の払込票に記載されたバーコードを、新技術（注1）を活用してスマートフォンの画面上に表示し、コンビニの店頭で決済を実現するものです。

従来、コンビニの店頭レジで支払う際、請求事業者から郵送される払込票やコンビニ店内のキオスク端末(注2)で発行した払込票の提示が必要でした。新サービスでは、利用者が予めスマートフォンにインストールしたアプリケーションにより表示される電子バーコードを提示し、これをコンビニ店頭レジのスキヤナで読み取ることで、現金支払いが可能となります。

本サービスは、利用者の利便性向上や、請求事業者の払込票発行・郵送コストの削減、コンビニの店頭・管理業務の効率化など、皆さまにとって利便性・効率性の高い新しい決済サービスです。

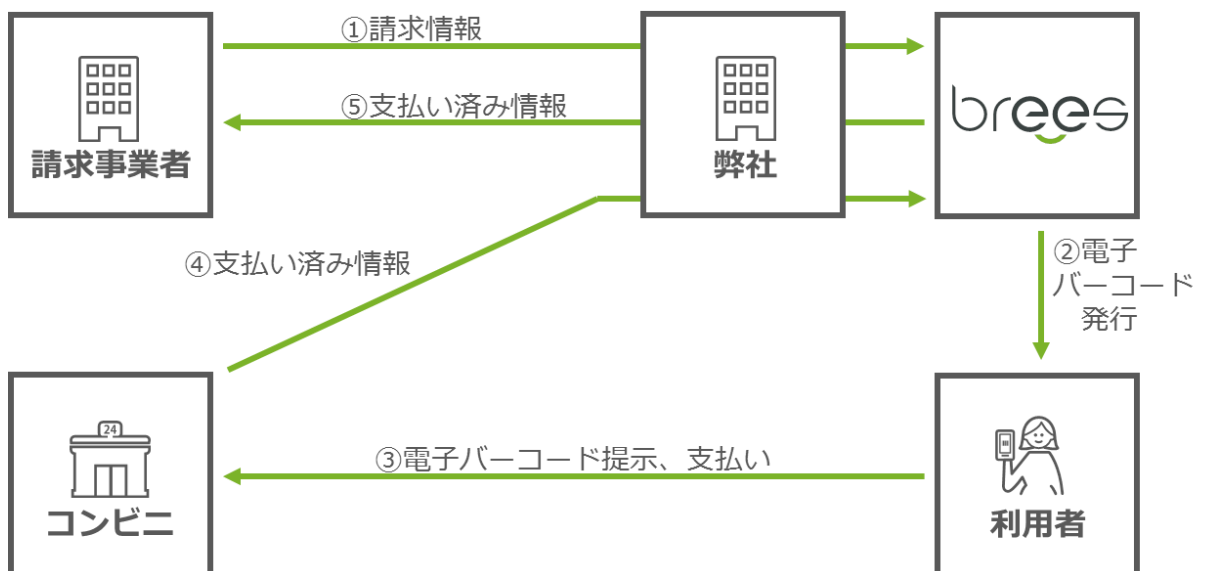
【利用イメージ】



2. 新しい決済サービスのスキーム

弊社は請求事業者より請求情報を取得し、breesへ電子バーコードの発行と利用者への通知に必要なデータを連携します。

支払い済み情報は、弊社から請求事業者に還元します。



なお、利用者は、専用のアプリ（9月13日リリース予定）をスマホにダウンロードすることで、『PAYSLE』を利用可能となります。

弊社では、従来から国内マーケットの約10%、年間1億件を超えるコンビニ収納代行を取り扱っておりますが、『PAYSLE』への参画により、消費者、請求事業者の双方にさらなる利便性と効率性を提供できるものと考えております。また、FinTechの活用による、収納代行業における新たな価値の創出に向け、積極的に取り組んでまいります。

（注1）スマートフォンの画面上に表示するバーコード。従来の技術では、一次元バーコードをスマートフォンの画面上に表示するとPOSスキャナで読み取れないという課題がありました。

（注2）コンビニ等の店舗内に設置されている。情報通信端末。略称MMK端末。

以 上